

【注意喚起】注射用カリウム製剤の投与方法について

低カリウム血症に対するカリウムの補給に広く用いられているカリウム製剤は、急速静注すると不整脈や心停止を起こす恐れがあります。

投与する際には、以下の3点にご注意ください。



当院採用:KCL注 20mEqキット「テルモ」

- 必ず希釈して使用すること(カリウムイオン濃度 40mEq/L 以下)
→500ml の輸液*あたり 20mEq まで
- 投与速度はカリウムイオンとして 20mEq/hr を超えないこと
→KCL 注 1 本を希釈した輸液は、1 時間以上かけて投与
- カリウムイオンとしての投与量は 1 日 100mEq を超えないこと
→1 日あたりの合計は、KCL 注で 5 本まで

*輸液には既にカリウムを含んでいるものがあります(主なものは下記参照)。

輸液名	カリウム含有量(当院採用規格)
ソルデム 3A	
ビーフリード	500mlあたり 10mEq (=1000mlあたり 20mEq)
フィジオ 35	
フルカリック(1号、2号、3号)	1袋あたり 30mEq
エルネオパ(1号、2号)	1袋(1000ml)あたり 22mEq 1袋(1500ml)あたり 33mEq 1袋(2000ml)あたり 44mEq
ハイカリック(NC-L、NC-N、NC-H) ハイカリック(1号、2号、3号)	1袋あたり 30mEq

【濃度】カリウムイオン濃度として 40mEq/L 以下に必ず希釈すること
【投与速度】カリウムイオン濃度として 20mEq/hr を超えないこと
【投与量】カリウムイオン濃度として 1 日 100mEq を超えないこと

-----以下余白-----

注射薬の薬袋にも同じ注意事項が
記載されています
使用前には必ず確認してください!

<参考資料>

KCL注 20mEqキット「テルモ」(20mL) 添付文書

公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業第40回報告書(2015)

公益財団法人日本医療機能評価機構 医療安全情報 No.98 カリウム製剤の投与方法間違い(2015)

医薬品医療機器総合機構 PMDA 医療安全情報 No.19 カリウム(K)製剤の誤投与について(2010)